

災害と防災対策(前編)

昨年の防災だよりの総集編を、1月号(前編)と3月号(後編)の2回にわたって掲載します。

まずは昨年発生した主な自然災害を振り返ってみましょう。

| | |
|----|------------------------------|
| 1月 | 記録的大雪、草津白根山噴火 |
| 3月 | 霧島新燃岳噴火 |
| 4月 | 島根県西部地震、大分県中津市耶馬溪町斜面崩壊 |
| 6月 | 桜島爆発的噴火、大阪北部地震 |
| 7月 | 7月西日本豪雨、記録的猛暑 |
| 8月 | 台風大量発生、記録的猛暑 口永良部島噴火警戒 |
| 9月 | 台風21号・24号・25号猛威 北海道胆振東部地震 |

う。さまざまな災害が列島を襲い、中には大規模災害となり激甚災害に指定されたものもあります。

自然災害の代表格である地震と風水害は、毎年日本各地で発生しており私たちの身近に災害の脅威が存在していることが分かります。

「太宰府市」は大丈夫？

本市はどうでしょう。「地震は関係ない。大規模風水害は来ない。被害もない」と言えますか。

●地震

市の西部を警固断層が、北東部には宇美断層が縦断しており、かつ警固断層の地震発生確率は、Aランク(高い)に指定されています。また、全国の活断層の中でも発生確率は上位に入っています。

●風水害

昨年、1日で332ミリの降水量を記録し、全壊1戸、がけ崩れなどの被害をもたらした豪雨があり、西日本各地で多数の犠牲者を出すなど甚大な被害が発生しました。一

昨年の九州北部豪雨災害に続き豪雨災害発生の可能性が高くなっています。

また、台風の直接的な影響はありませんでしたが、強い勢力で上陸し各地に被害をもたらしました。台風についても注意が必要です。



「防災だより」を活用して災害に備えよう！

「防災だより」では、災害に関する基礎的な知識や備え、地震・風水害(土砂災害)・台風などの対策や災害情報などを掲載し、市民の皆さんに注意喚起してきましたが、災害に対する知識や日ごろの備えや対策は万全ですか。

毎年襲いかかる自然災害、特に、最も怖い地震や風水害に対し「自分の命は自分で守る(自助)」ことを基本に、災害対策を進めましょう。

地震対策10カ条

①【自助】自分の安全を確保



テーブルなどが無い場合は、低い姿勢になり両手で頭を保護する

②火の元確認

火を使っているときは、揺れがおさまってから、慌てずに火の始末をする

③窓や戸を開け出口を確保

家の中に閉じこめられないように、玄関のドアや窓を開けて出口を確保する。特にマンションなどの中高層住宅では重要

④火が出たらすぐ消火

消火器の備えや日ごろから消火訓練で体験しておく

⑤懐中電灯は身の周りに

夜間などの災害に備え、就寝時は手元に置いておく

⑥山・崖崩れに注意

危険のある地域に、お住まいの方は早めに避難する

⑦避難は徒歩、荷物は最小限

非常持出品はリュック一つにまとめ、移動は徒歩で(車はできるだけ使わない)

⑧ブロック、塀、川、狭い路地に近づかない

避難時は、ブロックや塀など倒れやすいものや危険な物に近づかない



⑨正しい情報と冷静な行動

ラジオやテレビなどから正しい情報を得て行動する

⑩避難の前に安全確認

避難の前に電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める